

平成 30 年度 第 2 回 第 1 層協議体 議事要約

日時：平成 31 年 1 月 10 日（木）

午前 10 時～午前 11 時 30 分

場所：枚方市市民会館 3 階 第 3 会議室

発 言 者	内 容
事務局	<p>それでは定刻となりましたので、平成 30 年度第 2 回第 1 層協議体を開催いたします。 本日はご多用のなか、本会議にご出席くださりまして誠にありがとうございます。 本日の案件と、お手元の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の案件は</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 元気づくり・地域づくりプロジェクト取組発表会の報告 2. 元気づくり・地域づくりプロジェクトの業務委託の仕様書について 3. (その他) 居場所づくり事業に関してとなります。 <p>開催案内には、案件 1 と案件 2 を逆に記載しておりましたが、本日は順番を入れ替えて進行させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。 本日の資料は、次のとおりです。</p> <p>資料 1 わたしのまちの元気づくり・地域づくり取組・活動集 資料 2-1 「元気づくり・地域づくりコーディネーター事務」仕様書 資料 2-2 「元気づくり・地域づくり（第 2 層協議体）事務局事務」仕様書 資料 2-3 課題抽出イメージ図 資料 2-4 会議録別紙（第 2 層協議体課題抽出シート）（案） 資料 2-5 第 1 層協議体課題抽出シート一覧（案） 資料 3-1 高齢者居場所づくり事業申請状況（平成 31 年 1 月 8 日現在） 資料 3-2 高齢者居場所づくり事業登録一覧（平成 31 年 1 月 8 日現在） 資料 3-3 枚方市高齢者居場所づくり補助金交付要領</p> <p>皆様 お手元にごございますでしょうか。</p> <p>それでは、これから次第に沿って進めていきますが、その前に今朝シルバー人材センターからの出席者が体調不良のため急遽欠席と連絡がありましたので、先にご報告させていただきます。</p> <p>また、構成機関・団体、事務局の高齢者サポートセンターの職員から見学者が同席していることもあわせて報告させていただきます。</p> <p>それでは、案件 1. 元気づくり・地域プロジェクト取組発表会の報告について説明させていただきます。</p>
地域包括 ケア推進	<p>配付資料：資料 1 わたしのまちの元気づくり・地域づくり取組・活動集 平成 30 年 11 月 16 日に「わたしのまちの元気づくり・地域づくりプロジェクト取組発</p>

課	<p>表会」を関西医科大学の講堂で開催しました。校区の取組みの共有と意見交換の場を設け、本プロジェクトの更なる発展を目的に、今回初めて開催した催しです。</p> <p>当日は194人が来場され、盛況の中で終了することができました。</p> <p>内容としては、第1部と第2部の2部制で行いました。</p> <p>第1部は、枚二校区、香陽校区、明倫校区の3つの校区にプロジェクトの取組みを発表していただきました。</p> <p>枚二校区は、カフェ・ゲーム・体操の3つのプログラムがある新たな居場所「枚二みつば」の開設までの準備から現在の運営について、香陽校区はニーズ調査を行ったうえで、課題解決のための地域元気づくり教室の活用など様々な取組みについて、明倫校区は商店街ならではの強みを活かした取組み等について発表していただきました。</p> <p>第2部は、第1部の発表者5名と樟葉西校区コミュニティ協議会会長の計6名と来場者との意見交換を行いました。</p> <p>樟葉西校区コミュニティ協議会会長は、発表の感想について述べられ、運営のコツや地域の方のお誘い方法など第1部の発表者に質問されました。</p> <p>また、来場者からは「自分の校区はここに苦勞しているが、どうされていますか。」といった質問もあり、時間いっぱい有意義な意見交換ができました。</p> <p>発表された校区は、活動の振り返りから今後の活動へのモチベーション向上に繋がり、来場された方にとっても、得たアイデアを持ち帰ることができたのではないかと感じております。</p> <p>資料1は、取組発表会の当日、来場者に配布した資料です。</p> <p>平成29年度の各校区の取組みをまとめ、以前に第1層協議体で報告した内容と同様のものです。またお時間がある時にご確認いただければと思います。</p>
事務局	<p>取組発表会は、会場の定員の都合と周知期間の関係で、介護保険事業者等に個別周知することが出来なかったことを申し訳なく感じています。</p> <p>今後は、介護保険事業者等も交えて意見交換等を行う機会を作っていきたいと思っていますので、その際はぜひご協力をお願いします。</p> <p>それでは、当日ご来場いただいていた枚方市校区福祉委員会協議会からご感想をいただきたいと思っています。</p>
枚方市校区福祉委員会協議会	<p>自分の校区が行っている取組みとはタイプが異なるものだったので、「こういった取組みもあるのか」と参考になりました。</p>
事務局	<p>そう感じていただけたのは嬉しいです。おっしゃるように、「それぞれの校区が異なる取組みを行っているが、それぞれがどれも素晴らしい」ということを伝えることも目的の一つでした。</p> <p>取組発表会の後に、「ここを聞き逃してしまったので教えてほしい。」といった質問や「報告するので資料を〇〇部ほしい。」といった依頼もあり、少しでも活動されている方のモチベーションの維持・向上に繋がっているのであれば良かったと思います。</p>

	<p>では、次に案件 2.「元気づくり・地域プロジェクトの業務委託の仕様書について」説明させていただきます。</p>
地域包括 ケア推進 課	<p>配付資料: 資料2-1 「元気づくり・地域づくりコーディネーター事務」仕様書 資料2-2 「元気づくり・地域づくり(第 2 層協議体)事務局事務」仕様書 資料2-3 課題抽出イメージ図 資料2-4 会議録別紙(第 2 層協議体課題抽出シート)(案) 資料2-5 第 1 層協議体課題抽出シート一覧(案)</p> <p>先ほど報告させていただきました取組発表会での 3 つの小学校区の発表や、「取組・活動集」に記載しています内容など、開始から 2 年が経過していく中で少しずつ形が見えつつあるかとは思いますが、地域づくりについては一朝一夕に変化するものではなく、少しずつ変化していくものであり、中長期的な視点が必要かと考えています。</p> <p>そのため、第 2 層協議体事務局事務、第 2 層生活支援コーディネーター事務の業務委託の仕様については、変更せず、昨年度と同様の内容でと考えています。</p> <p>資料 2-1 と 2-2 は、今年度の第 2 層生活支援コーディネーター事務、第 2 層協議体事務局事務の仕様書及び提出していただく見本様式です。</p> <p>一方、様々なご意見や活動記録、会議録やプランなどの報告された記録から、この第 1 層協議体だけでなく、それぞれの小学校区の第 2 層協議体においても情報を共有し、課題解決に向けた意見交換が活発になればと考えておりますが、課題や課題解決策などの情報の共有、支援体制を構築するための課題の優先順位付けなど、仕組みが必要ではないかと考えております。</p> <p>そこで、第 2 層協議体事務局事務の報告様式を 1 つ追加したいと考えております。</p> <p>資料 2-3 課題抽出イメージ図をご確認ください。</p> <p>追加の報告様式は、第 2 層協議体において検討した地域の課題等を事務局が記入し、課題抽出シートとして提出いただきたいと思います。</p> <p>提出された課題抽出シートを用いて、この第 1 層協議体で優先順位や必要性を検討した課題抽出シート一覧を作成していきたいと考えております。</p> <p>第 2 層協議体事務局が作成する課題抽出シートは、お手元の資料 2-4 をご確認ください。</p> <p>このシートでは、課題区分を選択し、その課題、そこからの提案と効果を第 2 層協議体で検討していただき、今後の方向性を選択していただくものです。提出方法といたしましては、資料 2-2 元気づくり、地域づくり会議事務局仕様書に添付しています会議録の別紙として課題抽出シートを提出していただこうと考えております。</p> <p>第 1 層協議体では、資料 2-5 「課題抽出シート一覧」を作成したいと考えています。課題抽出シート一覧を作成することで、課題の要因を分析し、「重要度」「困難度」の点数化、優先順位等の検討を行っていただきたいと考えています。</p>
事務局	<p>第 1 層協議体では今までサービス事業や介護予防事業などの報告案件が多くを占めていましたが、それぞれの小学校区での取組みが進んできている今、元気づくり・地域づくりプロジェクトの中で出てきた課題を、第 1 層協議体で検討する仕組みを創って施策化できる体制整備の必要があります。</p>

	<p>その仕組みとして、課題を検討するためのシートを提案しています。実際に使用しながら、随時修正していくことで、より良いものを創っていきたいと考えていますがいかがでしょうか。</p> <p>介護保険事業者等の事業所が第2層協議体の構成団体に入っている校区もあり、施設は活動場所の提供を行い、地域住民は活動内容の周知を行うなど、協働しているとの報告もある中で、より連携しやすい仕組みを構築していきたいと考えています。枚方市特別養護老人ホーム施設長会としてはどうでしょうか。</p>
枚方市特別養護老人ホーム施設長会	<p>特別養護老人ホームの地域交流スペースをどのように地域住民に開放していくか、ということの一つの課題になっています。</p> <p>また、近年増加している地域密着型の特別養護老人ホームでは、2か月に1回、地域の代表の方を交えて「運営推進会議」を行うことが義務付けられています。運営推進会議を通じて、地域の課題や情報をお互いに共有する仕組みを創ることが出来れば、地域の課題を抽出して検討する流れが出来ると思います。</p> <p>第1層協議体や元気づくり・地域づくりプロジェクトで、地域団体と枚方市特別養護老人ホーム施設長会を繋ぐパイプ役、より協働しやすい体制づくりに努めていきたいと思えます。</p>
事務局	<p>情報の共有が課題を解決する一つの方法でもある、ということも周知していきたいですね。また、活動の担い手不足が課題としてよく挙げられますが、ちょっとしたお手伝いなど自分ができる範囲でやりたいと思っている人が多い中、地域でお手伝いをするのはちょっと・・・、という声も聞きます。</p> <p>NALCや大阪高齢者生活協同組合、ボランティアセンターなどとも連携し、広い範囲での活動から地域の中での活動など、活動先や活動内容を充実することで担い手を増やしていければと考えています。</p> <p>実際にNALC「天の川クラブ」では、市内をブロック分けして活動されていると聞いていますが、その辺りはいかがでしょうか。</p>
ニッポン・アクティブライフ・クラブ枚方拠点	<p>助け合いや地域貢献など地域に根ざした地区の活動も行なっています。</p> <p>地域の団体と連携しながら活動を行うことを理想としていますが、実際は会員の中から、その地域の核となる世話人を選任するという段階から苦慮しているような状況ではありません。</p>
枚方市老人クラブ連合会	<p>老人会では、役員の方が80歳近い場合も多いです。</p> <p>どこの団体も後任者がいないため、長年役員を継続する傾向にあります。</p> <p>また近年は、定年後も企業で働く方が多いからか、65歳以上の方でも地域社会との接点がなくなってしまう方が多く、また自ら地域に入り込むことを求めない傾向もあります。</p>
事務局	<p>第2層協議体だけでなく、それぞれの機関・団体も様々な課題を抱えて活動されている、しかし、その課題の中に共通するものがあるかもしれないですね。</p> <p>このように地域にたくさんの課題がある中で、情報を共有して解決に導くために、課題抽出シートを導入していきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>最後に一つ、第2層生活支援コーディネーター事務を遂行するにあたり、ひとり暮らし</p>

	<p>高齢者の名簿の提供を検討してほしいとの申し出がありました。</p> <p>ひとり暮らし高齢者の名簿が委託する業務の遂行に必要な情報であれば、業務委託仕様書に「ひとり暮らし高齢者の名簿を活用した見守り・安否確認」と明記することで提供は可能となります。しかし、業務委託仕様書に明記すると、全ての校区で実施しなければならない業務となります。</p> <p>全ての校区で共通する課題であり、取り組むべき内容なのかを検討するためにも、この件については課題抽出シートに掲載していきたいと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>他にご意見はございますでしょうか。</p>
枚方市校区福祉委員会協議会	<p>課題抽出シートの重要度について、「重要である」「どちらでもない」「重要でない」の3段階ではあまりに短絡的だと思います。</p> <p>「非常に重要である」「重要である」「どちらでもない」「やや重要でない」「重要でない」といった5段階にするべきだと感じます。</p>
事務局	<p>あまりに詳細な選択より、3段階くらいが選択しやすいのではと考えたものですが、いかがでしょうか。</p>
枚方市社会福祉協議会	<p>3段階で点数化すると、複数の課題が同じ点数になってしまうという懸念があるかと思っています。</p>
事務局	<p>そうですね。ご意見ありがとうございます。</p> <p>では、5段階で一度シートを作成したいと思います。3段階と5段階とどちらが選択しやすいのか、どちらのほうが適切か、またご意見を伺いたいと思います。</p> <p>続きまして、その他の案件として、高齢者居場所づくり事業について説明をさせていただきます。</p>
地域包括ケア推進課	<p>配付資料:資料3-1 高齢者居場所づくり事業申請状況(平成31年1月8日現在) 資料3-2 高齢者居場所づくり事業登録一覧(平成31年1月8日現在) 資料3-3 枚方市高齢者居場所づくり補助金交付要領</p> <p>まずはじめに、高齢者居場所づくり事業における補助金交付申請の状況等について報告をさせていただきます。</p> <p>資料3-1をご覧ください。</p> <p>平成29年8月から事業を開始していますが、平成31年1月8日現在での登録件数は89件で、校区ごとの設置状況は裏面に記載しているとおりです。</p> <p>校区によって登録数に偏りはありますが、高齢者居場所として登録のない校区においてもサロンやカフェなど高齢者が集まる場があるということは把握しています。</p> <p>しかし、サロンなども高齢者居場所として登録することで、広く公開できる情報となりますので、高齢者居場所としての登録数の増加を目指し、様々なアプローチを行っていきたいと思います。</p> <p>なお、平成31年1月8日現在で登録されている居場所の一覧が資料3-2です。</p> <p>この資料は枚方市ホームページにも公開していますので、またお時間のある時にご覧いただければと思います。</p>

	<p>次に、高齢者居場所づくり事業における補助金交付に関して、皆さんにご意見をいただきたい案件がございます。</p> <p>資料 3-3 の高齢者居場所づくり補助金交付要領第 11 にあるとおり、「同一小学校区で既に 2 か所以上の高齢者居場所を設置している場合で、同一所在地に居場所の登録があるとき、補助金申請は、第 1 層協議体で意見を求めた上で受け付ける」としています。</p> <p>今回、対象団体 1 件ありますので、皆さまのご意見を伺いたいと思います。</p> <p>対象団体は既に高齢者居場所として登録済みのため、資料 3-2 に掲載されています。</p> <p>資料 3-2 の 6 ページ「氷室台体操サークル」です。</p> <p>「氷室台体操サークル」は、高齢者居場所づくり事業における補助金交付申請を行い、体操の DVD をみるためにテレビ、テレビ台、ブルーレイディスクプレイヤーの購入を希望されています。</p> <p>しかし、既に同じ氷室台自治会館で活動している団体が 2 つあります。</p> <p>4 ページ「ひむろ卓球クラブ」と 5 ページ「氷室台カラオケサークル」です。</p> <p>この 2 つの団体が、それぞれ補助金の交付を受け、卓球台、カラオケ機器等を購入しています。</p> <p>今回、同じ氷室台自治会館で活動している 3 つ目の団体、「氷室台体操サークル」に補助金を交付することで、ひらかた元気くらわんか体操の取り組みが広がり、自主的な体操の継続が期待できる一方で、予算が限られていることもあり、居場所が設置されていない校区に対する補助金の交付を優先していきたいとも思います。</p> <p>皆さまのご意見をお願いします。</p>
枚方市校区福祉委員会協議会	<p>100 か所の高齢者居場所の設置を目指しているということだが、設置が 100 か所になった時点で補助金の交付を打ち切るのですか。</p>
地域包括ケア推進課	<p>補助金の交付に関しては、100 か所分の予算を確保していますが、高齢者居場所としての登録については上限数を設けているものではありません。</p>
枚方市校区福祉委員会協議会	<p>補助金の交付申請をせず、高齢者居場所の登録を行っている団体に関しては、数や場所にこだわる必要はないと思います。</p> <p>しかし、予算に限りがある補助金の交付については、同じ場所に集中しているにもかかわらず補助金を交付することは望ましくないと思われます。</p>
地域包括ケア推進課	<p>そうですね。今のご意見を踏まえて、補助金交付申請の受付について課内でも検討させていただきます。</p> <p>案件は以上になりますが、他に何かご意見はございますでしょうか。</p> <p>まだご発言されていない方は「今年の抱負」でも結構ですが、年始めということで枚方市介護支援専門員連絡協議会、一言ご意見をお願いします。</p>
枚方市介護支援専	<p>資料 1 の 5 ページに「介護サービスを利用することで地域とは分断されてしまうことがある」「一度介護保険サービスを使うと使い続けてしまう」とありますが、まさに介護支援</p>

<p>門員連絡協議会</p>	<p>専門員の反省すべき点と感じました。</p> <p>元気づくり・地域づくりプロジェクトを行う意義を、地域の介護支援専門員に伝えていくということを今年の目標として頑張りたいと思います。</p> <p>また、施設の地域交流スペースの開放に関するのですが、私が所属する施設でも月1回地域住民にスペースの開放を行っています。</p> <p>運営に関しては、施設スタッフが主導していて、地域住民がお客様という状況です。</p> <p>開放したスペースで自主的な活動を施設スタッフがサポートするという形を目指していますが、なかなか思うようにはいかないのが課題となっています。</p> <p>また、施設スタッフは業務ではなくボランティアとして活動しているのにも関わらず、主として運営を行っていることが負担になっている部分もあります。</p> <p>一度、参加者主体での活動を提案しましたが、活動に参加はしてくれるものの担い手になってくれる方はいませんでした。</p>
<p>枚方市デイサービス連絡協議会</p>	<p>うちのデイサービスでも営業日外の曜日を利用して高齢者居場所として登録しております。</p> <p>利用者主体を目指して開設しましたが、まだそこまで至っておらず、スタッフ主体で行っているのが現状です。</p> <p>施設の管理も必要なのでスタッフの出勤が必須ですが、営業日外なので出勤しなければならないスタッフを業務とするのか、ボランティアとするのか、どのような扱いにするのかということが問題になっています。</p> <p>開設して2年が経ちますので、当初から参加していただいている方に、運営を担っていただくリーダーになっていただきたいと思っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会の会長は、地域住民の自主グループの活動支援をされていましてよね。とても難しいと思いますが、その辺りを教えていただけますか。</p>
<p>枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会</p>	<p>それでは、週1回自主的に集まって体操を行っている住民グループの紹介をさせていただきます。</p> <p>そのグループに理学療法士が体操のアドバイス等の支援を行うのは月1回です。残りの週はリーダー役の方が中心になって体操を行っています。</p> <p>最初にしっかりと圏域の地域包括支援センターや住民グループと話し合いながら、自主的に体操を継続出来る体制を創り上げたため、その後は支援する頻度が少しずつ減っていききました。</p> <p>このグループには、たまたまリーダー役になってくれる方がいらっしゃったこともありますが、多方面と連携しながら基盤を創る時間があつたことが上手くいった要因かと思われます。</p>
<p>事務局</p>	<p>大阪高齢者生活協同組合からは、何かご意見はございますか。</p>
<p>大阪高齢者生活協同組合</p>	<p>大阪高齢者生活協同組合では、地域に活動を発信していく取組みを始めました。</p> <p>ひとつは、1月20日に認知症に関する公開講座を行います。ふたつ目は、小学校区を単位に日常生活用品が購入出来る店とフリースペースと相談スペースを設けた居場所を創り</p>

	<p>たいという構想があります。</p> <p>その居場所に関しては、近年増加している空き家の活用についても検討していく必要があると感じています。</p> <p>また、街かどデイハウスの登録者を、どのように地域の担い手として活用していけるのか、活用すれば良いのか思案しているところです。</p>
事務局	<p>空き家の活用については、賃料や光熱水費等のランニングコストをどう捻出していくのかという課題があり、地域住民の集いの場として活用するのは難しいのではと考えていましたが、NALCや大阪高齢者生活協同組合等に協力していただくことで、ボランティア活動と収益事業を混ぜ合わせたような形でモデル事業として確立できれば素晴らしいですね。</p> <p>まだまだ皆様のお話をお伺いしたいところではございますが、そろそろお時間となりましたので、これで平成30年度第2回第1層協議体を終了いたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>